



主な内容

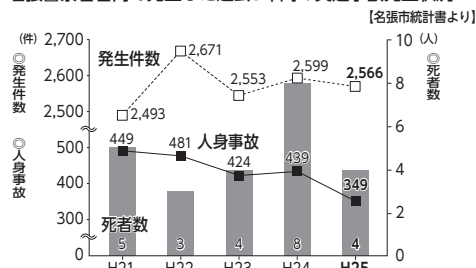
- ②……体育・健康フェスタ2014、名張ひなち湖紅葉マラソン大会
- ③……新入学児童を対象に健康診断、リバーナホール催物
- ④……伊賀地域二次救急実施病院、知事と市長との1対1対談

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp ㊚http://www.city.nabari.lg.jp

■ 秋の全国交通安全運動を実施中

9月30日までは、交通事故死ゼロを目指す日

名張警察署管内で発生した過去5年間の交通事故発生状況



市内の交通事故の発生件数は、過去5年間を見ると、年間約2,500件発生しています。

また、平成25年の死者数4人のうち3人は、高齢者(65歳以上)となっています。年齢に伴い身体機能が変化します。十分な注意と、ゆとりある行動をお願いします。



4月9日行われた自転車運転の安全指導(名張中学校)

交通ルールを守り、ゆとりある運転で

通学時に、子どもたちから元気な声で「おはようございます」と声を掛けられると、とても気持ちがいいもので、活動の糧となっています。

最近では、携帯電話などをしながら自動車の運転をするドライバーをよく見かけます。注意が運転から離れ、気づいたときには手遅れとなり、事故につながります。最近の事故でも、わき見運転が原因と思われる追突事故などが多くなっています。こうした運転は、悲惨な事故を招くこともありますので、車のハンドルを握れば、責任ある運転をお願いします。

一人ひとりが、交通ルールを守り、時間にゆとりある行動をすれば、交通事故は減ります。これからも交通事故ゼロを目指し、事故のない安心安全なまちづくりに取り組みます。



名張市生活安全推進協議会
交通安全部会

部会長 **車本 忠夫** さん

交通事故ゼロとロウロウ願いの

大切な命を守るために

ほぼ毎日のように交通事故のニュースや新聞記事が伝えられています。しかし、多くの人が「私に限って」と思いながら運転したり、歩いたりしている人が、実は多いのではないのでしょうか。

今号では、市内で交通安全啓発や街頭指導などに取り組んでいる名張市生活安全推進協議会交通安全部会の取組みを紹介します。☎都市計画室 ☎63-7749

いつ起こるか分からない身近な不幸

交通事故は、いつ自分の身に起こるか分からない、身近な不幸です。名張警察署管内では平成25年、2566件の交通事故が起きました。そして、4人が交通事故で亡くなっています。

交通事故を起こさず、市民の皆さんが安心して暮らせる地域にするため、昭和47年に設置された名張市交通安全推進委員会を前身とする名張市

自転車事故を防止する安全啓発の取組み

最近では、自転車を運転する人が加害者になる交通事故が増加し、自転車事故に対する賠償額も高額となっています。そうした中、交通安全部会では、昨年からの通学路の交通安全指導だけでなく、自転車通学がある中学生を対象に事故防止の指導や安全教育をしています。今年も、4月に名張中学校で講習会を行いました。講習後、生徒会長からは、「交通ルールの順守に努め、交通事故ゼロを目指します」と宣言がありました。

こうした活動と共に、さまざまな研修会などに参加し、委員相互の安全知識を深めています。そして、警察や交通安全協会など関係機関と連携を図り、交通事故を撲滅できるように取り組んでいます。



朝の交通安全指導の中、登校する児童(旧名張消防署跡地前)